

2015年山形県中央メーデーに結集された仲間の皆さん、おはようございます。本日は、吉村県知事、市川山形市長はじめ多くのご来賓の皆様にご臨席いただき、心から御礼申し上げます。

最初に、統一自治体選挙についてですが、県議選は推薦候補8人の全員当選、市議・町議選は24人の全員当選を勝ち取ることができました。この間の取り組みに心から感謝申し上げます。しかし、県議選の1人区及び2人区ではほぼ自民党の議席独占を許しており、非自民勢力の力量アップをどう図るか、従来以上の努力が求められています。

さて、今年のメインスローガンは「平和を守り、雇用を立て直す」です。

最初に「平和を守り」としたのは、現在の日本の繁栄は戦後一度も国内外で戦争をしなかったからであり、今年は戦後70年という節目の年であること、安倍政権が強引に進める集団的自衛権の行使、戦前に戻す憲法改正などに対する強い危機感があるからです。安倍総理のいう「積極的平和主義」は、平和主義という言葉を使った、まやかしの平和主義と言われています。自衛隊を地域を限定しないで積極的に海外に派遣する、専守防衛ではなく先制攻撃も行うという危険な冒険主義と言われています。マスコミ、メディアの書き方や言い方に対する介入も各方面から批判されています。戦争は言論の自由を統制することから始まってきます。安倍政権の暴走にストップをかけ、戦争をストップさせなければならないという声は各方面で大きくなっており、今日結集された皆さんが、各労働組合で、地域で、特に若い人たちと「戦争と平和」について考える取り組みをしていただくことをお願いします。

二つ目に、「雇用を立て直す」です。非正規労働が4割近くになっています。平成生まれの退職理由ランキングの一位は「キャリア成長が望めない」となっており、これは多くの若者が、非正規という雇用形態、期限付きの有期雇用という雇用形態で働いているからです。第二は、残業・拘束時間の長さです。ブラック企業がはびこり、使い捨ての働かせ方がはびこっています。サービス残業も横行しています。県内の労働基準監督署による2013年度のサービス残業は12年度の2.4倍に急増しています。このような雇用実態を改善していかなければなりません。連合山形は、いわゆる残業代ゼロ法案など労働者保護ルールの改悪を阻止するために、5月18日から県内キャラバンを行い、5月27日に第三弾の全国統一行動に合わせた県都集会を行います。

賃金も立て直さなければなりません。賃金は1997年以来下がり続けてきましたが、昨年久しぶりにベースアップを勝ち取り、今年は昨年を上回るものとなっています。しかし、地場中小は依然として厳しい実態にあります。

非正規労働は低賃金であり、結婚、出産、子育てが非常に困難となっており、少子化に拍車をかけていることが各種統計数字でも明らかです。

アベノミクスのまやかさも明らかになっています。安倍政権下で格差がより拡大したことが数値で裏付けられています。今また、苦し紛れの地方創生を打ち出していますが、プレミアム商品券が目玉になるような中身であり、新鮮さはなく、まやかしの地方創生と指摘されています。私たちは山形県民の自らの力、山形力で地域の再生を果たす必要があります。

最後に、9月6日告示、13日投票の山形市長選挙及び来年夏の参議院選挙に向けた取り組みです。山形市長選挙は、非自民の力を束ねて、非自民の勢力を総結集して戦わなければなりません。山形市議選で過半数を獲得した成果を生かし、候補者を早期に決定する必要があります、関係者の皆さんと一緒に努力していきたいと思えます。

また、来年夏の参議院選挙には、連合として12人の組織内比例代表候補を擁立して戦う予定です。前回の厳しい結果を踏まえ、直ちに取り組みを開始する必要があります。県選挙区の候補者についても早期の決定が必要と考えています。

本日結集されたすべての仲間の皆さん、希望と安心の社会を作るために、心を合わせ、力を合わせ、団結・連帯してともに頑張りましょう。